

設計課題 「家族のライフステージの変化に対応できる三世代住宅(木造2階建て)」

1. 設計条件

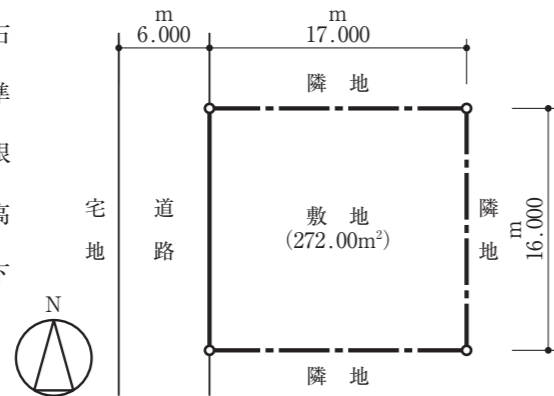
ある地方都市の住宅地において、家族(親世帯・子世帯)のライフステージの変化に対応できる三世代住宅を計画する。子世帯は共働きであり、祖父母は趣味の家庭菜園を楽しむつつ、平日は孫の食事等の世話をしている。計画に当たっては、次の①～④に特に留意する。

- ①玄関は親世帯と子世帯で共用するが、室の配置・動線はプライバシーに配慮した計画とする。なお、1階屋内において世帯間が行き来できるようにする。
②居間は、三世代の家族が集まって歓談できる場とし、日照に配慮した明るい空間となるようにする。
③子世帯の夫婦寝室は、子ども(弟)の幼稚園卒業を機に、室の一部を子ども室として分割し、別々に使用できるようにする。
④床高等については、下表のとおりとする。

Table with 2 columns: 1階部分の各要求室(玄関ホールの上間部分を除く。)の床高(地盤面からの高さ) 500mm, 玄関の上間部分の地盤面からの高さ 150mm, 家事室の上間部分の地盤面からの高さ 150mm

(1) 敷地

- ア. 形状、道路との関係、方位等は、右図のとおりである。
イ. 第一種住居地域内にあり、防火・準防火地域の指定はない。
ウ. 建ぺい率の限度は60%、容積率の限度は200%である。
エ. 地形は平坦で、道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好である。
オ. 電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。



(2) 構造、階数、建築物の高さ等

- ア. 建築物の耐震性に配慮する。
イ. 木造2階建てとする。
ウ. 建築物の最高の高さは10m以下、かつ、軒の高さは7m以下とする。

(3) 外壁の仕様

外壁はモルタル塗りの湿式工法とする。

(4) 延べ面積

必ず「160㎡以上、200㎡以下」とする。(床面積については、ピロティ、玄関ポーチ、駐車スペース、駐輪スペース等は算入しないものとする。)

(5) 家族構成

- ア. 親世帯: 祖父・祖母(60歳代)
イ. 子世帯: 夫婦(30歳代)、子ども2人(弟: 乳児、姉: 小学3年生)

(6) 要求室等

下表の全ての室等は、必ず指定された設置階に計画する。

Table with columns: 設置階, 室名, 特記事項, 床面積. Lists rooms like 玄関, 居間, 食事室, 洗面所, 親夫婦寝室, etc. with their specifications and area requirements.

(7) 屋外施設等

屋外に下表のものを計画する。

Table with 2 columns: 施設名, 内容. Lists items like 菜園, 駐車スペース, 駐輪スペース with their specifications.

2. 要求図書

- ア. 下表により、答案用紙の定められた枠内に記入する(寸法線は、枠外にはみだして記入してもよい)。
イ. 図面は黒鉛筆仕上げとする(定規を用いなくてもよい)。
ウ. 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛は、455mm(部分詳細図(断面)にあつては、10mm)である。
エ. シックハウス対策のための機械換気設備等は、記入しなくてよいものとする。

Table with 2 columns: 要求図書()内は縮尺, 特記事項. Lists drawing requirements for floor plans, sections, elevations, and area tables.

下書欄 (目盛4.55mm)

Large grid area for drawing the design, with a 4.55mm scale.

Registration information fields including member number (会員番号), name (氏名), and location (受験地).